

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第86号

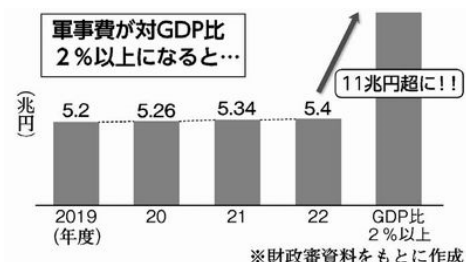
2022年 6月15日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

参議院選挙、「戦争」か「平和」どちらへの道を選択しますか？

6月22日公示、7月10日投票(予定)の参議院選挙、「戦争」か「平和」どちらの道を選択するのか、日本の進路を決める大事な選挙です。

ロシアのウクライナ侵攻に乗じて「敵基地攻撃能力の保有」「核の共有化」「軍事費2倍化」など声高に叫び、9条を改憲して「戦争する国」づくりを推進する自民党・公明党、野党のふりをした日本維新の会、国民民主党の「翼賛勢力」と【軍事対軍事】ではなく【憲法9条を生かす平和外交】を政策に掲げる日本共産党との対決点が鮮明になっています。

自民党は、軍事費を5年以内にGDP(国内総生産)比2%以上に増やす提言をしています。GDP比2%になれば11兆円程度に倍増し、世界第3位の軍事大国となります。



【しんぶん赤旗日刊紙 6月10日版より】

大軍拡は社会保障大幅切り下げと消費税増税で暮らしを押しつぶします。必要なのは大軍拡ではなく、消費税減税、年金削減中止などでコロナ禍や物価高に苦しむ家計を温める政策です。

「日本の前途は日本共産党の躍進にかかっています。党をつくって100年。自由と平和をまっすぐつらぬく日本共産党。どうか日本共産党を大きく伸ばして下さい。」

千葉選挙区は「さいとう和子」、比例代表は「日本共産党」へ！ ご支持を広げて下さい。

浦安で集い

ジャーナリストの山田さんと対談

ウクライナ危機、物価高騰…政治が果たすべき役割は何か。日本共産党のさいとう和子参院千葉選挙区候補とジャーナリストの山田厚史さんが対談する党の「集い」が4月17日に浦安市内で開かれ、縦横に語り合いました。

物価高騰焦点に

山田さんは「日本も軍拡を」という雰囲気の高まりを「押し返さないと大変なことになる」として軍拡競争を懸念。「おしゃる通り」と応じたさいとうさんは、被爆者の声が結実した核兵器禁止条約に参加せず逆に「核共有」を迫る自民・維新議員らを「核があるから核の脅威に脅かされる」「ヒロシマ、ナガサキ」の惨禍を繰り返すのか」と批判しました。 【しんぶん赤旗日刊紙 4月22日版より】

「安全保障」政策で対決点鮮明に

翼賛勢力	日本共産党
◇軍事費◇ 自民、維新は国内総生産(GDP)比2%以上を念頭に軍事費増を明記。公明、国民も軍事費増の必要性を主張 ◇敵基地攻撃◇ 自民、国民は「敵基地攻撃能力=反撃力」の保有を明記。維新は「積極防衛能力」の構築を主張 ◇9条改憲◇ 自民、維新は「自衛隊明記」のための9条改憲を掲げ、国民も議論を進めると主張	ウクライナ危機に乗じた「敵基地攻撃能力」の保有、軍事費の2倍化、9条改定などに断固反対。「力対力」でなく、憲法9条を生かした平和外交で東アジアと世界の平和をつくる

【しんぶん赤旗日刊紙 6月10日版より】



【6月4日、柏駅前で聴衆の激励に応える田村副委員長とさいとう和子候補《しんぶん赤旗日刊紙5日版より》】



山田さんは「危機に伴う物価高騰が参院選の焦点の一つになる」と提起しました。さいとうさんは世界で広がる食料危機に警鐘を鳴らし、目先のもうけ優先の輸入頼みで食料自給率を低下させてきた自民党政権は「自滅の道だ」と怒りを込めました。

さいとうさんは、平和を守り社会保障を充実するため「社会の土台に憲法をきちんと位置づけよう」力説し、改憲勢力を3分の2にさせないため党の躍進を訴えました。山田さんは、「翼賛体制が阻止できるかどうかの大事な選挙。踏ん張りどころです」とエールを送りました。

私の一票は 村上ますえ

長兄は戦地中国で銃撃を受けた
銃弾は腰に
生涯戦争の傷を背負って生きた
また同じことが孫の上に
不安が沸き上がる

七十七年前ウクライナと同じように
焦土と化した日本の国土

多くの死者を
住まいをなくし
食うや食わずの人を
目の当たりにした経験を持つ私

そして新しい憲法ができ

「日本は絶対戦争はしない」と
老教師が語ったあの日の感激
忘れることができない

「敵基地攻撃」などいって

相手国も自国も破滅に追い込む

武力増強

プーチン批判にことよせて

憲法まで変えようなどと

私は許せない

政治は国民の生活を守ること

平和で

誰もが豊かに

穏やかな生活を

そんな政治を願って私は一票を投じたい



私の故郷自慢

No.16

<< 私のふるさと 仙台市 >>



私には「ふるさと」といえる所は特にありません。ただ、今までに住んだ所で一番印象に残っているのは仙台市です。小学校に入学する時に栃木県から移住した。静かな里山からいきなり賑やかな仙台へ、初めて見るものばかりで全てが物珍しかった。

今でこそ「杜の都」といわれ、ケヤキ並木が美しい街ですが、私がいた頃は道路の整備中で、ただっ広いだけでした。遠足で歩いて行った青葉城は伊達政宗と鷲の像があるだけ、頂上からは市内が一望できた。母に連れられて三越で買い物し、催し物を見聞きするのが楽しかった。

東北3大祭りの七夕祭、豪華絢爛で素晴らしく、綺麗だったが、強烈な印象を受けた事が2つあった。1つは七夕祭に来たアメリカ兵達（進駐軍）、自分たちと違った肌の色、体は一回りも二回りも大きく、解らない言葉を話していた。本当にビックリ。（初めて外国人を見た）

もう1つは大通りの辻々に旧日本軍の元負傷兵たち（手足を失った傷痍軍人）が、白装束でアコーディオン等を弾き、平伏し物乞いをしている姿が、こどもの私には何か異様で怖かった。母が「戦争であんなふうになったのよ。」と言っていた。

1～2年生のクラスに自分たちとは顔立ちの違った子がおり、あまり学校へ来ていなかった。今思うにアメリカ兵とのハーフで、「いじめ」に合い不登校だったのかもしれない。

3年生の時よく遊んだボク(朴)さんは、広瀬川の橋のたもとのバラック小屋に住んでいた。当時は面白い名前（ワタシ、ボクの僕さん）と思っていたが、大人になって名字パク(朴)から在日韓国人だと知った。たった3年間の仙台暮らしでしたが、一番思い出深い所でした。

【入船 小松】



浦安市に保健所を

千葉県のコロナ感染死者数
全国ワースト7位！

千葉県の就業保健師数
全国ワースト5位！



これは2022年5月現在の数字(札幌医大、厚生省)です。千葉県は全国的にみて死者は多く、保健師数は少ないのが際立っています。保健所の増設が急務なのは明らかです。ちなみに、死者数が最も多いのは大阪府（保健師数は2番目に少ない）、死者数が最も少ないのは島根県（保健師数は3番目に多い）です。

実は、コロナ前から「なぜ浦安市に保健所がないのか」という疑問や設置を求める要望はありました。専門的な公衆衛生の拠点となる保健所は感染症対策だけでなく、精神疾患、ひきこもり、難病などの相談・支援や、飲食をともなう自治会の夏祭りや学校行事などの届け出など実に多岐にわたります。そのたびにわざわざ市川保健所まで行かねばならないからです。

「浦安市に千葉県直営の保健所を設置してほしい」との要望については、この後援会ニュースに毎号取り上げてきました。



昨年7月には、日本共産党として、みわ由美県議やみせ麻里浦安市議などとともに熊谷千葉県知事に要望を伝えました。

残念ながら県側は 体制強化に努めると答えながらも、保健所増設や保健師の大幅増員は考えていない、臨時職員や応援で対応するとの回答でした。

「浦安市に保健所を」の要請署名も新浦安駅などで行っています。市民共通の願いになっています。ぜひとも多数の署名を集め、今年も県に対して要求していきたいと考えています。引き続きご協力をお願いいたします。